

● アノマリーによる売買とは？ ●

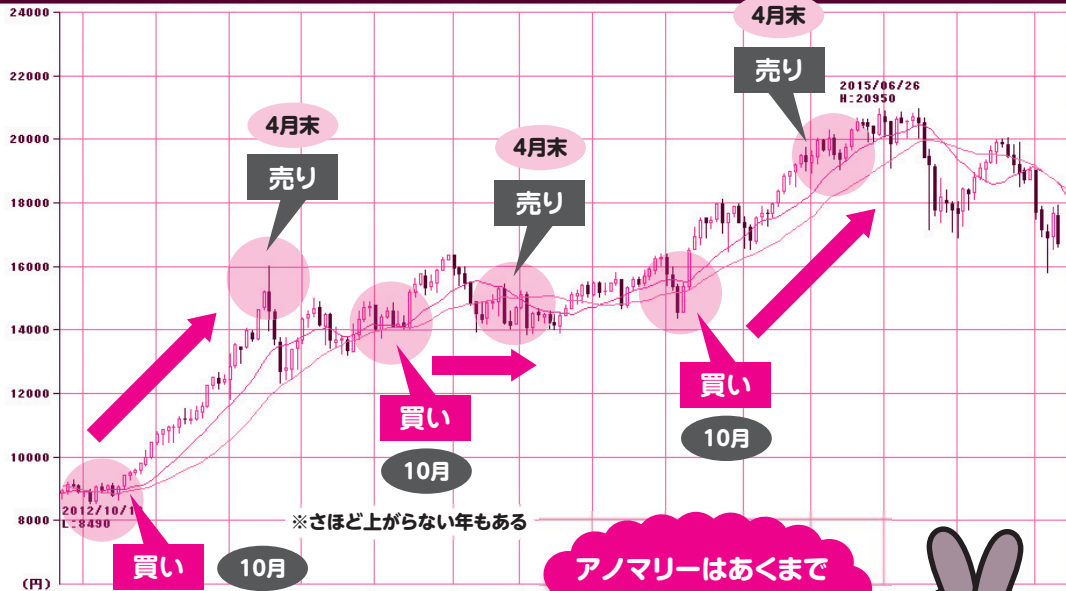
# 経験則にもとづく法則で売買

経験則にもとづくアノマリーは、根拠はなくても意外と当たることが多い。これにしたがって売買する人も多いが、必ずそうなるわけではない。そこで、外れた場合

を想定して売買することになる。たとえば、アノマリー通りに相場が動かなかったときに備えて、ストップロス（逆指値）を設定しておくなどの対策が必要になる。

## ハロウィンルールで売買（例）

日経225先物 期近 大阪 週足 2012年09月07日 ~ 2016年02月09日



アノマリーは、論理的な理由はないが、なぜかそうなることが多いジンクスのようなもの。たとえば、10月は「ハロウィンルール」（10月に買い、翌年4月末に売ると良い）というアノマリーがある。しかし、上図のように2014年4月は、例年通りには値が上がらなかった。必ずそうなるわけではない点には注意しよう。

## 逆指値の入れ方（例）

### ①直近高値でもんでいるとき

➡ 直近高値（ここを抜けると大きく上がることが多いので）

### ②なんとなく下がりそうだけど…というとき

➡ 移動平均線（例:25日線を超えたら損切りなど）

### ③金額を決めて設定

➡ 1000万円負けたら撤収（自分で許容できる金額に設定）